

# 顔認証技術の普及と問題

図にあるように昨今、顔認識技術は広く用いられている。  
しかしシステムとしては完全なものではなく、未だ問題も多い。

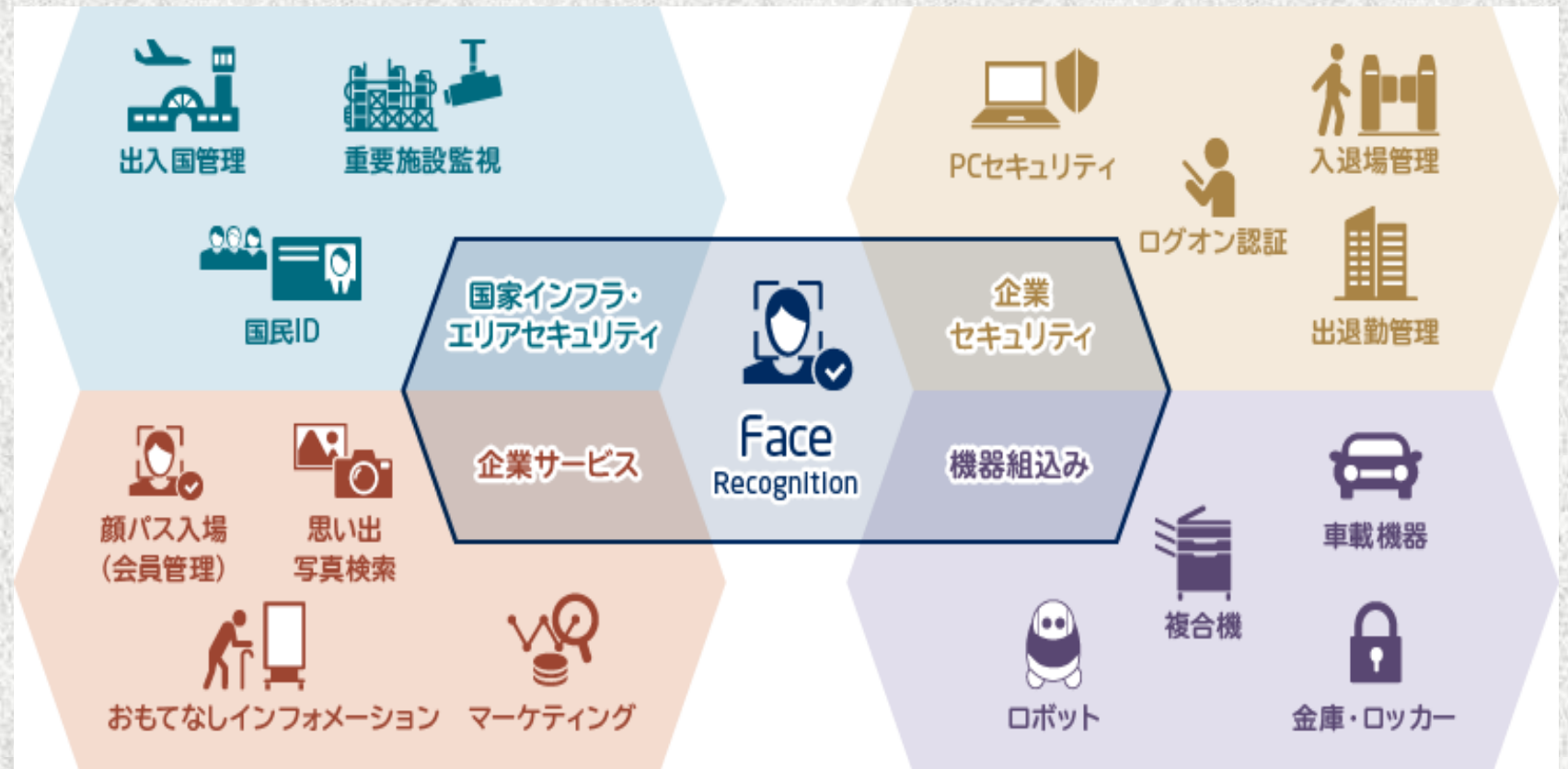
利用例（抜粋）

- ・ 入国管理
- ・ 入館時審査
- ・ 犯罪捜査
- ・ 個人認証

→ セキュリティ

→ 精度が重要

→ 安全性も重要



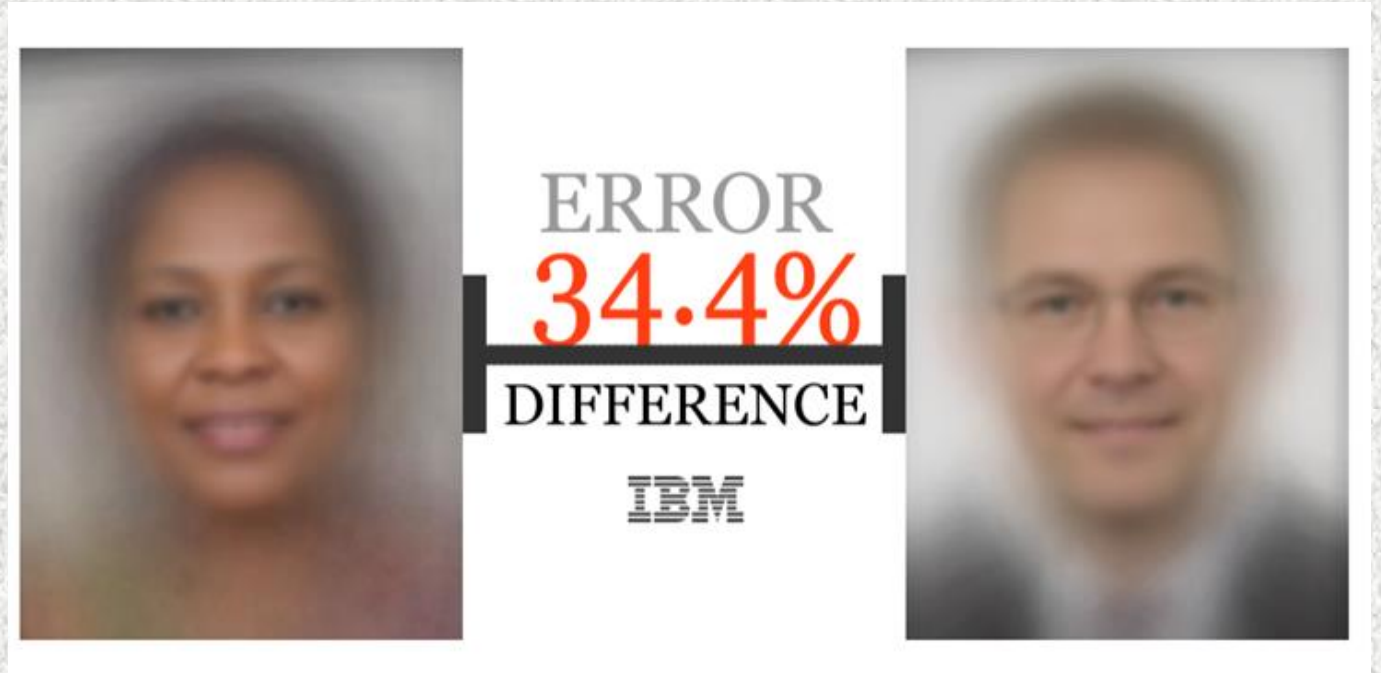
# 顔認識技術の特徴

## 利点

- ・ 非接触
- ・ 高いセキュリティ性
- ・ 導入・運用が容易

## 欠点

- ・ プライバシーの侵害…?
- ・ 運用次第では脆弱性も
- ・ ラーニングの偏り
- ・ 精度は担保できるのか?



図：人種差に伴う識別精度の差

この差はラーニングする頻度やデータに用いられている人種の割合の差に起因するとみられている。



# 発生している問題・課題

例：誤認逮捕の発生（米：2020/01）

→人種による認識精度の差（前ページ図・2018）

→差別の助長にもつながる…？

→プライバシー保護の観点に則ったデータ収集か…？

→システム運用側の過信？

→個人特定の悪用の危険性

⇒ しかし明確な規制・基準などはあまり整備されていない

…技術的・倫理的にも未熟なシステム

⇒システムを必要以上に信用してはならない

⇒こうした新技術に対して迅速に規制などを制定する必要がある